

いいモノ
つくろう。
川崎重工

さあ、人にやさしく快適な空の旅へ。
わたしたちの技術が支えます。

約10年前のことです。「これからの航空機の世界標準は、炭素繊維複合材構造。共にその流れをつくろう!」
米国ボーイング社のこの言葉から、「ボーイング787ドリームライナー」の開発が始まりました。
この複合材は軽量で腐食せず、高い強度を持つなど航空機材料に必須な特性を多く持つ反面、
加工が非常に難しく、扱いにくい材料。まして胴体丸ごと複合材でつくるのは、当時としては大きな飛躍が必要で、
まさに「ドリーム」でした。しかし胴体部分に適用できれば、機体重量を軽減できるほか、
機内を地上に近い気圧・湿度に保つことができ、より快適な乗り心地が実現できます。
炭素繊維複合材で前部胴体をつくること。それが川崎重工に与えられた課題です。
川崎重工はさまざまな難題を克服し、複合材一体成形胴体の量産化に成功しました。
今日も世界ではたくさんの人たちが、飛行機で旅をしています。
人にやさしく快適な空の旅に川崎重工の技術が役立っていること、それがわたしたちの誇りです。

世界の人々の豊かな生活と地球環境の未来に貢献する“Global Kawasaki”

[Kawasaki Yoake Project] スペシャルサイト

Kawasaki Yoake 検索

<http://www.khi.co.jp>

 **Kawasaki**
Powering your potential

川崎重工業株式会社